



航空高専最後の機械工学科5年 生 年度始めの抱負

都立産業技術高専

ものづくり工学科・吉田喜一

●歴史と伝統のある、東京都立航空工業高等専門学校最後の学生として、社会に貢献できるよう、一生懸命がんばりたいと思います。

●早く就職を決める。4月24日に面接、試験頑張ってきます。

●5年だけでもA.L.L優で卒業する。

●社会に出る人間として、一回り大きく人間として成長したい。最後の航空高専生として、しっかりと就職を決め卒業を目指していきたい。

●夏に国立大学を合格して、本命の私立の時に余裕を持って受験できるようにする。

●学会発表！自転車部1年10人！

●高専生活も残り1年となってしまいました。今まで学んだことを十分に活かして、後悔の無いようにすごしていきたいと思っています。卒業するた

めに1年間頑張るのではなく、卒業した後のことを考え努力したいと思っています。

●完全に燃焼しきる。航空高専最後の学生として、悔いも汚点も残さないように努力する。気を抜かない！



青森発・「希望の雫」

りんごジュースのお話

今回は、青森のとても美味しいりんごジュースのお話です。表題で、ピンと来た方もいらっしやるかもしれません。3月から4月頃にかけて、新聞やテレビで紹介されたこともあるからです。

JAAオレン（青森県農村工業農業協同組合連合会）では、昨年〜今年にかけて、限定生産のりんごジュース「希望の雫」を製造・販売しており、注目を集めています。というのも、このジュースの原料に使われている青森産のりんごは、いわゆる「すそもの」を使用したものであること、特殊製法で酸化防止剤（ビタミンC）さえも入れない、間然無添加のストレート果汁であるからです。

ちょうど、1年前の今頃ですが、青森県では「おそ霜」と「ひょう」により、生育中だったりんご果実に傷が入ったり、変形するなどの大きな被害が出ました。被害総額はなんと百億円を越えるとのことでした。

傷のあるりんごは、「すそもの」扱いになります。確かに、見た目は劣るかもしれませんが、味は美味しく食べられます。私の親戚（福島県）からは毎年秋になるとそうしたりんごを「自家消費用」として送ってもらっています。農家が丹精込めて育てたりんごは多少見た目が悪くても本当に美味しいものです。先日、三ノ輪のヨーカドーの青果売り場では、今回被害にあった青森のりんごを「わけあり」として販売していました。

ところが、こうして販売されるのはごくわずかです。というのも、やはり一般受けしない、つまり売れないことが一つ。究極に安くしたくても、輸送代、倉庫保管代がかかるため、限度があります。これに関連して、安い「すそもの」が大量に出回ると、優良なりんごの価格下落を招きかねないというジレンマがあります。そのため、大半は生食用ではなく、加工用、つまりジュース類の原料として取引されることとなります。

ただ、悪いことに、享年はその「すそもの」があまりに大量だったとすることで、ジュース等の加工が追いつかず、受け入れ先がないままのりんごがあふれてしまいました。生ものですから、いつまでも保管できるわけではありません。先月には、泣く泣く、廃棄処分が始まったというニュースも入りました。

当店では、少しでも産地方面にお手伝いができることを願って、「希望の雫」を購入しました。飲んでみると、本当に風味豊かで、やさしい味わいです。濃縮還元普通のジュースとは完全に没物です。これは「めつけもの」でした。なお、只今、当店で五千円以上お買い上げのみなさまには、「希望の雫」を1本、プレゼント致しております。「本紙を見た」とお申し付け下さい。

【消費生活アドバイザー
佐藤 祐一郎】

◆メガネのサトウ◆

南千住5丁目43の13【コツ通り】

TEL 03 (3806) 4930

★営業時間のご案内★

平日・土曜：AM 10時～PM 7時 30分

日曜・祝日：AM 11時～PM 6時 30分

◎4月・5月の毎週火曜日と、5月4～6日は、休業日とさせていただきます。

